平等院

©平等院

藤原頼通によって1052年に貴族の別荘から寺院に改められ、翌年には**鳳凰堂**（阿弥陀堂）が建てられました。鳳凰堂のほかに鎌倉時代に創建当時の本堂跡に建てられた観音堂が残っています。
この世に**極楽浄土**を再現するために造られたとされ、その美しさは今も変わることなく残り続けています。

おもな見どころ

鳳凰堂（阿弥陀堂） 国宝

華やかな藤原摂関時代をしのぶことができる建物で、「阿弥陀如来坐像（国宝）」が安置されています。屋根の上には一対の鳳凰を置き、中堂を中心に両翼廊が左右対称に建てられています。翼を広げた鳥のように見えることから、江戸時代始め頃より「鳳凰堂」と呼ばれています。

ミュージアム鳳翔館

平安時代の作で「天下の三名鐘」のひとつの「梵鐘（国宝）」や阿弥陀堂の屋根に据えられていた初代の鳳凰が展示されています。

データ

- ■電話番号：0774-21-2861
- ■参拝時間：8：30～17：30
- ■休　　日：無休
- ■アクセス：JR・京阪「宇治」駅下車徒歩10分

HPはこちら